

## 平成27年度第1回瑞浪市子ども・子育て会議議事録

平成28年1月13日 午後1時30分から  
瑞浪市役所2階大会議室

出席委員：兼松委員、大脇委員、楯委員、各務委員、出村委員、江口委員、小倉委員、  
羽柴委員、竹内委員、渡邊委員、加藤委員、高橋委員、矢田委員、橋本委員、  
土屋委員、栗岡委員、水野（美）委員、水野（優）委員、西尾委員、後藤委員

欠席委員：なし

傍聴人：なし

事務局：伊藤民生部長、正村民生部次長、三浦係長、鈴木主事

**正村次長**：本日はご多用のところ、ご出席をいただきましてありがとうございます。ただいまから、平成27年度第1回瑞浪市子ども・子育て会議を開会いたします。

はじめに、瑞浪市子ども・子育て会議委員の委嘱式を行います。水野市長より委嘱状の交付を行います。水野市長が席を回りますので、その場でご起立くださいますようお願いいたします。

### 市長が委嘱状を交付

**正村次長**：任期は、平成29年12月17日までの2年間でございます。よろしく申し上げます。それでは、子ども・子育て会議の開会にあたり、水野市長よりご挨拶申し上げます。

**水野市長**：皆さんこんにちは。日中のお忙しい時間の中、第1回目の瑞浪市子ども・子育て会議を開催しましたところ、皆様にはご出席いただきましてありがとうございます。また、只今は、2年間の委員としての委嘱をお受けいただきまして、誠にありがとうございました。

瑞浪市としましても、国が平成24年8月に子ども・子育てに関する関連の3法案を成立させました。それを受け、昨年度瑞浪市の子育て支援の事業計画を策定しまして、今年からスタートしているところでございます。瑞浪市はそれ前から、子育てに関しては大変手厚くいろいろな事業や施策を考えてやってきたところでございますが、それをさらに拡充、拡大するなかで、若い子育て世代の皆さんの子ども子育てに関する支援を充実していこうということで、この事業計画の中に織り込ませていただいたわけでございます。今、1年が過ぎようとしています。委員の皆様におかれましては、この子ども子育て支援事業計画がしっかりみなさんにとって、実のある役に立つ事業であるのかないのか、この会議を通しまして精査していただき、いい所は、引き続き継続すればよいでしょうし、やはり見直した方がいい、まだまだこのことについては不十分だ、あまりこの施策事業は役に立っ

ていないものもあるかもしれませんので、施策事業は見直していただきながら、より子育て環境が瑞浪市の中でいい環境になっていくように、皆様方からご意見をいただければ大変ありがたいと思っております。私自身も、2人の子どもを30年前に子育てをしたわけですが、今思い出そうとしても、苦労したという思い出がありません。当時は親と同居していたことや家内が専業主婦で子育てに集中できたという環境もあったかもしれませんが、家内は大変だったかもしれませんが、私は大変だったという記憶がないので、申し訳ないのですが、ただ、最近孫ができました。長男の子どもが1年1ヶ月、娘の子どもが5ヶ月が過ぎたところですが、それをみていますと、やっぱり子育ては大変なんだと孫の子育てをみていて、実感しております。安心して子どもを産んでいただくために、子育て環境を整えないと、今の若い人たちは、大変なんだなあと、息子や娘の子育てをみて、私の実感として感じているところですので、この子ども子育て会議の重要性、瑞浪市の立てました支援事業の重要性、私も十分実感しているところでございます。よりよい子育て環境をぜひ、みなさんのアイデアをいただきながら、作っていきまして、瑞浪市で暮らすすべてのみなさんが、瑞浪市で子育てできてよかったな、幸せだなとそんなふうに使っていただけるようなすばらしい環境にしていきたいと思っておりますので、みなさんのそれぞれの立場で、ぜひ積極的にご意見をいただきながら、2年間の任期を全うしていただきますよう切にお願いしまして、私の冒頭のあいさつとさせていただきます。

2年間、大変お世話になります。すばらしい子ども子育て環境を作っていきましょう。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

**正村次長**：ありがとうございました。続きまして、自己紹介に移りたいと思います。資料1をご覧ください。まず、事務局よりご紹介させていただきます。

#### 市長より順番に紹介

**正村次長**：以上が事務局でございます。続きまして、委員の皆様方から自己紹介をしていただきたいと思っております。名簿順に挨拶をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

#### 委員の自己紹介

**正村次長**：2年間よろしくお願いいたします。続きまして会長・副会長の選任に移らせていただきます。本会議の運営に当たりまして、瑞浪市子ども・子育て会議条例第5条に基づき、子ども子育て会議に会長及び副会長を置くことになっております。条例の規定上、委員の互選となっております。いかが取り計らったらよろしいでしょうか。

**正村次長**：ご意見がないようですので、事務局の方に案がございますので、その案を発表させていただいてよろしいでしょうか。

**委員**：拍手

**正村次長**：それでは、事務局案でございます。会長に楯委員、副会長に各務委員にお願い

したいと存じますが、皆様いかがでしょうか。

**委員：拍手**

**正村次長：**ありがとうございます。それでは会長に楯委員、副会長に各務委員と決まりましたので、よろしく願いいたします。この後は条例に従いまして、会長に議長をお願いして、会を進めたいと存じますので、議長席へお願いいたします。

なお、この後、市長は公務がございますので、退席させていただきますので、よろしく願いいたします。

**市長：**2年間お世話になりますが、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

**会長：**一番年長だということで、ご指名を受けましたので、2年間みなさんと一緒に頑張りたいと思います。私も退職して13年経ちまして、家でぶらぶらしております。私の兄弟は男ばかり5人おり、私は四男です。私の子どもは3人おり、孫は2人おります。5、3、2と子どもの数がだんだん少なくなっております。戦後の苦しい時代に5人の子どもを育て、父親母親はよく育てたなと感謝しております。最近、国も瑞浪市も少子化の問題を大変課題にしております。今日も予算委員会の中で、安倍首相が子育て支援に予算をつけると約束しておりました。しかし、子育ては、お金だけの問題ではなく、やはり学校、あるいは幼稚園、保育園あるいは家庭、そういう中でよりよい子どもたちに育てていくためには、どうしていったらよいのかをみんなで考えていかなければならないと思います。どちらかという、国の予算を目当てにしなから、それに頼ってばかりではだめだということで、瑞浪市にあった、素晴らしい子育て支援をしていこうということで、こうゆう会議が持たれていると思います。後程説明があると思いますが、昨年、私も事業計画のこういった案も作りました。今後みなさんの実際の立場でいろいろな考えをお聞かせいただいて、実際実践していくなかで、いろいろな問題もあると思いますので、そういった点をご意見をいただきながら、会議を進めていきたいと思います。そういう点でこれから、いろいろな面でご意見をいただきたいと思いますが、遠慮がないように、お母さん方の代表、それぞれの立場の方がみえますので、立場、あるいは、地域の中での役職の立場、あるいは学校教育、幼稚園、保育園の立場からよりよい瑞浪市の子どもを育てる支援を考えていきたいと思います。事業計画については、昨年できておりますので、分からない点、疑問な点、良い考えがありましたら、どんどん意見をだしていただき、議事を進めていきたいと思ひます。

先日成人式がありましたが、瑞浪市も素晴らしい成人式だったというニュースを見ました。県内の成人の人数が288名減になっており、年々、成人も減っております。私も先程紹介しましたが、ボランティアで婚活をやっておりますが、年々30代、40代の参加者が多くなってきました。特に女性の方が少ないので、女性を集めるのに大変苦労しております。今お聞きしますと、他市からお嫁にきてみえますので、なんとか他市からどんどんお嫁にきていただけるような魅力ある瑞浪のまちづくりにも取り組んでいきたいなと思っております。コウノトリのボランティアをやっておりますが、なかなか難しい問題をかかえてお

ります。また、みなさんによろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、議題に添って会議を進めていきたくと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

それでは初めに、議題（１）瑞浪市子ども子育て会議について、事務局より説明をお願ひします。

#### 事務局より別紙資料により説明

会長：今、子ども子育て会議について説明をしていただきましたが、おわかりになられましたでしょうか。昨年度、事業計画を立て、すでに４月から実施しており、進めております。そういった中で、みなさんにご意見をいただきながら、検討していく会議となります。そういった説明があったわけですが、ご意見ありませんでしょうか。

具体的な審議内容については１・２・３とあります。構成メンバーについてはここにおみえになる２０名で成り立っていくということですが、よろしいでしょうか。それでは議題（１）につきましては終わります。続きまして、議題（２）瑞浪市次世代育成支援対策推進行動計画（後期計画）の評価について事務局の説明をお願ひします。

#### 事務局より別紙資料により説明

資料３について訂正があります。６ページ５１番児童館運営の充実について、２５年度事業内容の利用者数は７８,３１０人となりますので、訂正をお願ひします。

会長：今、説明されたものは、２６年度に実施された項目について評価を行ったもので、ＡからＥまでで評価したものになります。ここに冊子がありますが、みずなみ子育て支援応援プランというもので、瑞浪市次世代育成支援対策推進行動計画というものになり、基本的なものがここにあります。ねらいは、伸びやかに育つ環境づくり 誇りを持てる子どもと子育てという基本理念に基づき、基本的な項目を決めて、その実践をしてきたのですが、市の全体のなかで、これをどう捉えていくかということで、それぞれの所管の課があり、そこで評価をしてここに、まとめたわけですが、それを今説明していただいたわけですが、Ａがずいぶん多いわけですが、今お聞きしながら疑問に思った点などありましたら、ぜひお聞きしたいと思います。

委員：評価というものは、３年度合わせた評価なのか、最終年度の評価なのかどちらか。

事務局：２６年度の最終年度の評価となります。

委員：毎年評価しているのか。

事務局：年度ごとに、年度が終わってからその都度評価しております。

委員：評価して、最初Ｂだったのが、Ａ評価になったものもありますか。そういう項目もこの中にあるということですね。

事務局：そうです。毎年、評価を行っておりますので、ＢからＡになったものもあります。

**委員**：そうゆうのがわかると、ここをがんばったとか努力したなというのがみえてくると  
思います。

**事務局**：はい、分かりました。

**会長**：そのへんは大事なことですね。その年だけではなく、前年度どうであったか、それを元にして26年度どうゆう努力をしてBになったとかEになってしまったとかそういったことが分からないと、なかなか意見もでないかもしれません。25年度と26年度を比べたものはありますか。

**事務局**：手持ち資料がありませんので、今は分かりません。

**会長**：特によくなったものはありませんかね。評価は誰がされますか。

**事務局**：評価は担当課で行います。

**会長**：ずいぶんAが多いですね。いいことです。これは26年度で一応5年間実施しまして、今年度27年度からすでに新しい子ども子育て支援事業計画の冊子がありますが、すでに5年間の計画にとりかかっています。5年間の実績をもとにして、昨年度子ども子育て会議でこの案をつくり、4月からすでにそれぞれの所管課で取り組みをしているので、後程事業案についてはご意見をいただきたいと思います。今の説明は、26年度の子育てに係る事業についての説明と評価をしていただいたわけで、今江口先生が言われるように、前年度はどうであったかという評価があるとみなさんも分かり易いかなということでしたので、今後考えて頂きたいと思います。よろしく願いいたします。その他ご意見はありませんか。ご自分の担当で何か疑問に思ったことや、意見はございませんか。たくさんの項目について説明があったわけですが、4月から実施しているわけですが、この今説明があった事業のうち、4月からすでに継続して行っているものはわかりますか。なくなったものはありますか。

**事務局**：今年度については、まだ把握しておりません。継続となっているものについては、基本的には継続しております。

**会長**：子育て支援に関して何かございませんか。

**事務局**：先程江口先生からご質問いただきました、25年度評価については、新しい子育て支援事業計画の冊子の65ページに個々の事業評価はありませんが、項目ごとのA評価何事業という形で載せさせていただいております。今日は個々の評価については用意しておりませんので、申し訳ございません。

**会長**：今の話は、新しい事業計画の冊子の65ページに参考資料として、全体的にですが、まとめてありますのでご覧になってみてください。

**事務局**：項目ごとの評価となっています。

**会長**：家庭を持ちたくなる環境づくりのための評価については、A評価は5事業、50%、B評価は2事業、20%、c評価は2事業、20%というふうにまとめてはあります。

**委員**：これだけたくさんの事業をやっているわけですが、今年度特に力を入れてやられる事業はどんなものがあるのか、今までの経験ではあまりたくさん広げてしまうと、何をや

っているの分からなくなってしまうことがあるので、今年度はこうゆうことを重点的にやりたいとかそうゆうものがあるかお聞きしたい。

**事務局**：今説明をさせていただいたものは、平成26年度までの10年間の次世代育成の推進行動計画を作りなさいよということで、まずやらせていただいたものです。国の法律で、平成24年度に新たに平成27年度から新制度が始まるにあたり、子育て支援事業計画を作りなさいよということで、これから説明させていただく事業計画を策定しました。もともとは、26年度末で次世代が終わり、27年度からは子ども子育て事業計画にうつるという流れであったのですが、国の方で次世代を残しなさいよということになりましたので、まず一つ説明といたしまして、今年度より始まりました子ども子育て支援事業計画に次世代育成の主要事業を取り込む形としまして、これから事業を精査していきこの計画の中に次世代の一部を取り入れ、子ども子育て計画を中心として今後進めていきたいというものでございます。もう一つ主要事業ということですが、やはり保育園の運営管理も重要なものですし、親の就労に合わせた子どもの支援というものも重要でございますので、先程説明した、ファミリーサポートセンター、児童館、放課後児童クラブなどの運営もでございますので、特化して何かというより、やはりその年代に合わせた子育てのための施策はこれからもやっていきたいと思っております。

**委員**：ありがとうございます。

**会長**：これは今までのずっと広い範囲で次世代の事業を市が取り組んできた実績で、次に今年度4月から実際取り組んでいる子ども子育て支援事業計画についての方に移りたいと思います。今までのことを頭に入れておいていただいて、新しい計画についてはどうかということで、参考にさせていただき、説明をお聞きしたいと思います。

#### **事務局より別紙資料により説明**

**会長**：今年度からすでに始まっている事業計画についての説明でしたが、26・27ページが一番基本になるところでございます。昨年この会議を開きまして、27年度から始まるこの案を作成したわけですが、基本的な目標としては、「みんなで守り、みんなで育む、みんなの笑顔が満ちる子育て」という基本理念にたち、そのためにどういった目標があるかを決め4つの基本目標を掲げ、事業計画として具体的にはなっておりませんが、おおまかな案として、今年度から進めていく方向を示したものです。一つは母親の母子の健康の確保及び増進ということで、基本目標にしながらかつて、施策はどうゆう方向で、どんな事業をやっていたらよいかということが、今後細かくできてくると思いますが、そういった点で27ページの施策の体系図を見ていただくとだいたい分かると思います。その中に今までやってきた先程説明があった内容が具体的に内容が練られていくと思いますので、それはこれからの計画だということでよろしいでしょうか。

**事務局**：はい。この計画にまとめていただいた目標に沿って、施策を市の方で推進してい

くというかたちで、すでに27年度からできるものは始まっております。具体的に保育園の体制もだいたい27年度から変わってきております。いろいろな面ですでにこの計画に基づいた施策事業が動いておりますので、よろしく願いいたします。

**会長：**概要版をみていただくと、一番分かり易いと思います。ご意見はありますか。

**事務局：**27年度からスタートした計画ですので、今27年度の途中ということで、今、次世代の方で説明させて頂いたものを27年度終了後、計画の量などを見直しをさせていただきながら、また次の1年間の報告をさせていただくという形でいきますので、今日は年度途中ということで、この計画の進行管理については、今回の資料としておりませんので、ご理解いただきたいと思います。

**会長：**施策の方向があって、どうゆう事業に取り組むのかという今までやってきた中の細かい事業ができてきていると分かり易いと思います。そうしないと、なかなか意見がでないと思います。おおまかな方向性はわかりますが、具体的にどうゆうことをやっているのか、不妊治療として、そのあたりのことが分からないと意見もでないと思います。たとえば、就学前教育、保育サービスの充実といわれても、具体的にどうゆう事業があるのかそのあたりがはっきりみえてこない、こちらの中にもあると思いますが、今までやってきたことが具体的にでてくると、みなさん分かり易いと思います。

**事務局：**27ページのところで、施策の方向は示させていただいており、この方向に基づいた、一つ一つの中にいろいろな事業がありますので、それが今回は入っていないということで、分かりづらいということでした。大きなものはここにあります施策の方向に基づいた施策が行われております。

**会長：**今日はだいたいおおまかな今後の方向について分かっていただき、具体的なことについて、これからでてくるということで、よろしいですか。小倉先生、児童虐待という項目がありますが、推進にあたりその辺りでご意見はございませんか。

**委員：**虐待の方は、基本目標としては、「個々の家庭の特性に応じたきめ細かな支援となっていますが、虐待と言うと、少し大げさというか、生々しい部分もあるのかなと思っていましたが、例えば、その後説明があると思いますが、「ノーバディーズパーフェクトプログラム」というものが、27年度新規事業ということでありますが、こういった部分も、1歳から3歳の子どもさんは反抗期に入り、なかなか親子関係が難しく、親御さんも悩まれるような時期にこういった、「完璧な親はいないよ」とみんなでしゃべれる機会があることは、瑞浪市の虐待防止という意味でも非常に効果があるのではないのかなと思いますので、もっと前面にだしていてもいいのではないのかなと思います。虐待というと大きい問題となってきますが、広い意味でのお母さん支援というか勉強というか、そうゆうふうにとらえていただけると、広がりがあるのではないかと感じました。

**会長：**児童虐待は大きな問題となっておりますので、そういった中で、お母さん方の悩みの中から生まれてくる場合が多いので、そういった中でどうやってサポートしていくかという事業も大事なことであり、今年度も、項目として入れていただいたんですが、一人で

悩むお母さんが多いので、そういった中で、なんとかみんなでサポートし合っていく、そういう流れで入れてあるわけで、きちっとした事業があれば今後考えていただきたいと思っています。

**委員**：視点というか見方があると思うので、みなさんのご意見を踏まえて、事業を検討されるといいと思います。

**会長**：サポートセンターにみなさん行かれますか。そういう話し合いの場もありますか。お母さん方の悩みなどいろいろ話せる場はありますか。

**委員**：値段が高いので行こうと思うが、予備で登録はするが、なかなか行けません。

**委員**：児童館や支援センターをよく利用しますが、結構会う顔が一緒というか、私はよく広報とかを見て、少しでも自分が行きたいものをチェックして行こうとしているが、そこで会う顔ぶれは結構一緒の方が多く、勿論知らない方も多いですが、見たことあるなというお母さん方が多いです。今回この冊子をみせていただいて、こんなに事業があるんだと、広報などよくみているつもりでしたが、すごいなというのが私の今の思いです。ただ、どこまでお母さん方に浸透しているのかな、せっかくこんなにたくさんのをやっているのであれば、何かいい方法で浸透させていく方法がないのかなと思います。児童館へ行くと、たくさんのお母さんとお話ができて、私はスッキリとします。事業を知らないとか、そこには個人の問題もあるかもしれませんが、せっかくこんなに事業があるのならもっともっと浸透させていかなるために、広報だけではなく、何か知る方法はないのかなと思いました。

**会長**：前回の会議でもこういう意見がでました。市でいろいろやっても来る人が少ないということで、アピールしていく方法はないのかということでした。市も広報、インターネット等の方法をとってみえますが難しい問題でもあります。お母さん方は働いてみえる方も多いので、普段の行事に出掛けられないという悩みもあると思います。そのあたりを何とかしていかないと、本当に子育て支援に役に立つ事業となりませんので、みなさんと考えていきたいと思っています。何かいいアイデアがあれば、ご意見をいただきたいと思っています。

**事務局**：市でも子育て支援となっている子育て施策をまとめた冊子を配付させていただいております。今年の1月からメルマガで、子育て情報を流せるようになったので、そういったことをもっとPRしていきたいと思っております。

**会長**：その他ご意見はありませんか。

**委員**：担当課で内部評価されていますが、外部の評価はありますか。

**事務局**：基本的には内部で評価して、こういった会議で報告をさせていただくという形で進めさせていただいております。そこで何かご意見があればお聞きして、反映させていきたいと考えております。

**委員**：私も引越してきたばかりということもあるが、知らない事業がたくさんあります。

**事務局**：子育て専門の冊子があります。周知方法については、みなさんのご意見をお聞きしながらみなさんにお伝えできるように考えていきます。せっかく市がやっている施策事



業があってもそれが分からず利用できないということもあるので、周知方法についてはいろいろと考えていきたいと思っております。

**委員：**次の議題に移りたいと思います。おおまかな方向については、理解していただけたいと思いますので、議第（4）子育て支援新規事業について説明をお願いします。

#### **事務局より別紙資料5により説明**

**会長：**今年度より1つ、来年度より4つ新しい事業が入ってくるわけですが、また事業計画の中にでてくると思います。新しい事業については、アピールしていただき、利用が増えるようにしていただきたいと思います。新規事業について何かご意見はありますか。

**委員：**1番の講座ですが、有料となりますか。無料ですか。

**事務局：**1番の講座については無料です。この講座は、託児もあり、親御さんは子どもさんと離れての講座となります。親は親だけで、子どもの声が聞こえない中でファシリテーターと行い、その間、子どもさんは専門の保育士が預かるものです。

**会長：**申込みの締切は

**事務局：**一応昨日で締め切っております。

**会長：**何人ですか

**事務局：**11人です。

**会長：**27年度は締め切っておりますが、28年度の新規事業についてはみなさんアピールしていただきたいと思います。次に議第（5）その他について、議題以外のことでも結構なので、何かご意見・ご質問はありませんか。ご意見もないようですので、終わりたいと思います。今後また、こうゆう会議が開かれると思いますが、ご意見や提案をしていただきながら、瑞浪市の子どもたちが健やかに育っていくような方向でがんばっていききたいと思います。また、青少年育成の問題もたくさんでありますが、子育ての一番の基本は幼児期の教育ですので、将来のことも考えると大事な支援事業ですので、みんなで考えていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。それでは、これで議題が全て終了しましたので終わりたいと思います。ありがとうございました。

**事務局：**楯会長、ありがとうございました。委員のみなさまにおかれましては、貴重なご意見をありがとうございました。次回は新しい年度に入ってからを予定しておりますが、今度は27年度の子ども子育て支援事業計画をこの一年を評価し議題とさせていただきますので、また、よろしくをお願いします。それでは、閉会にあたり、各務副会長より、挨拶をいただきたいと思っております。

**副会長：**積極的なご意見をありがとうございました。それでは、これで、平成27年度第1回瑞浪市子ども子育て会議を閉会いたします。皆様ご協力ありがとうございました。お気をつけてお帰り下さい。

